

第12回総会・シンポジウム「富士山と東京との絆（きずな）」を開催します -歴史的都市風景のゆくえ-

2012年1月末、日本国政府はユネスコに対して、富士山を世界文化遺産候補とする推薦書を提出した。富士山はまもなく、世界遺産

「Fujisan」になろうとしている。その富士山は、東京都民にとってずっと特別な山であった。そもそも江戸時代には江戸市中に富士信仰が広がり、各町で富士講が組織され、庶民たちが富士山へ向かった。また、江戸そして東京の人々は、都内の各所からの富士山への眺めを長いこと楽しむできた。

しかし、昨年12月にパリのユネスコ本部で開催された、世界文化遺産の審査、モニタリングを担当するイコモス（国際記念物遺跡会議）の総会で

は、日暮里富士見坂からの富士山への眺望がマンションの建設計画により危機的状況にあるとの報告がなされ、建設計画の見直しを求める決議が採択された。日暮里富士見坂は都区部で唯一、実際に富士山を眺めることができる富士見坂として知られている坂である。

富士山が有する顕著で普遍的な価値が、世界に向けて発信されようとしている一方で、都民の日常生活からは富士山への眺めが一切、消えつつある。本シンポジウムでは、今、改めて富士山への眺めを歴史的都市風景として捉え直し、富士山と東京との絆を再確認したいと考えている。

第11回総会・シンポジウム「富士山と東京との絆」概要

■日時：2011年6月8日（金曜日）

■場所：新宿区若松地域センター

■第12回総会：13:20～13:50

■シンポジウム：14:00～16:30

○基調講演「歴史的都市風景保全の動向と富士山への眺め」

岡村祐先生

（首都大学東京都市環境学部自然・文化ツーリズムコース助教）

○パネルディスカッション「富士山と東京との絆を考える」

登壇者：岡村祐先生（前掲）

進士五十八（本会会長・東京農業大学名誉教授）

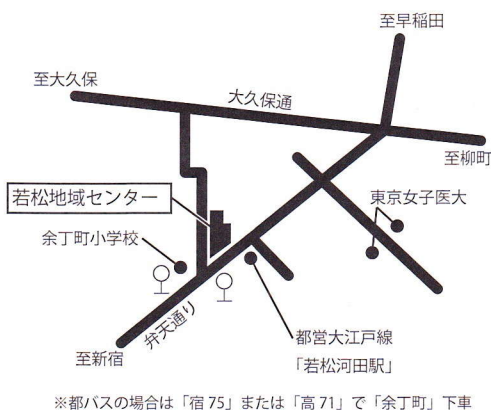
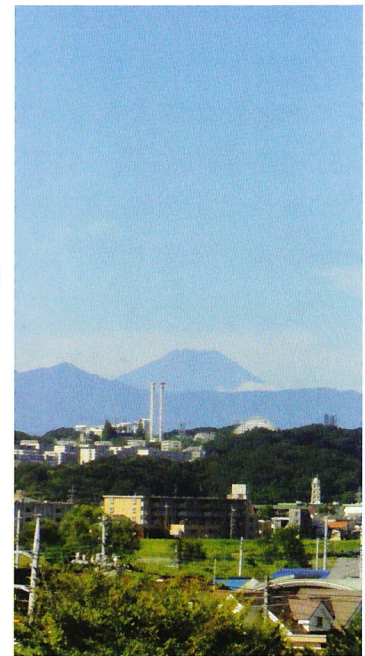
中島直人（本会副会長・慶應義塾大学） 他

■参加費用：無料

■申し込み：6月5日（火）締切。氏名、住所、電話番号、会員区分を

明記の上、e-mail:info@beautiful-tokyo.net または

FAX：03-3465-2025（大村事務所気付）まで。



会員を募集します

「美しい東京をつくる都民の会」では広く会員を募集しています。都民の会は、環境や景観、まちづくりなどを一緒に考え、美しい東京づくりを進めていこうというもので、誰でも参加できます。

年会費は、学生千円・一般の方三千円・法人、各種団体は一万円。

お問い合わせは、世田谷区北沢4-8-19 大村事務所気付、info@beautiful-tokyo.net、または FAX03-3465-2025まで。